

取扱説明書 ビデオカメラマウント (ハンドルバー用) 品番 RP-CMC10

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(右記)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

VQT4Z24-1
MO413KZ1063

■ お問い合わせ先

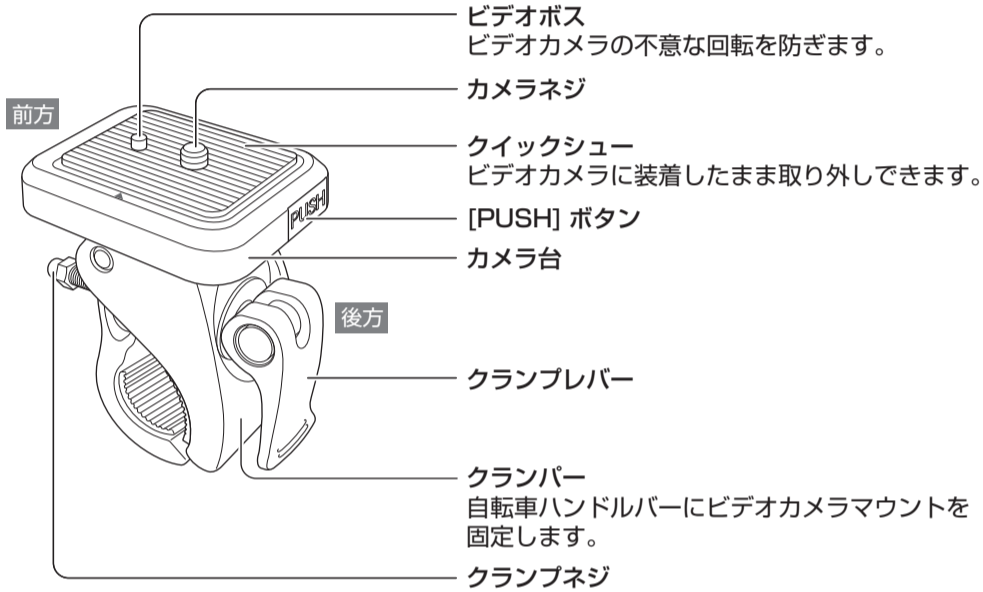
パナソニック 総合お客様サポートサイト	
http://panasonic.co.jp/cs/	
パナソニック お客様相談センター <small>365日 受付9時～20時</small>	
電話	フリーダイヤル 0120-878-365
<small>※携帯電話・PHSからもご利用になれます。</small>	
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「140#」を押してください。 (番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)	
■上記番号がご利用 いただけない場合	■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays) ※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。	

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504
大阪府門真市松生町1番15号
© Panasonic Corporation 2013

各部の名前

製品のイラストは、実物と異なる場合があります。



仕様

- 最大外形寸法(幅×高さ×奥行)
約 80 mm × 82 mm × 51 mm
- 質量
約 114 g
- 対応条件
下記の条件以外には対応しておりません。
お使いの自転車とビデオカメラの仕様をご確認ください。
- 自転車
・ハンドルバー径:
φ22 mm ~ φ32 mm
- ビデオカメラ
・本体、電池、その他装着品を含む質量:
370 g 以下
・記録方法:
メモリーカードと内蔵メモリーのみに
記録(DVD/HDD/miniDV 併用は
対象外)
・ビデオボス穴: あり
- 使用温度範囲
0 °C ~ +40 °C

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

使用上のお願い

本製品は自転車専用です。自転車ハンドルバー以外には取り付けないでください。

「仕様」(上記)に記載した条件以外のビデオカメラは取り付けないでください。

ご使用前にビデオカメラの取扱説明書もお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

お知らせ

- ビデオカメラは同梱されておりません。
- 本製品はビデオカメラの振動や衝撃、揺れを軽減する機能はありません。
- 振動などにより取り付けしたビデオカメラが正常に動作しないことがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⊘ してはいけない内容です。

⚠ 実行しなければならない内容です。

警告

⚠ 本製品の使用中は、常に実際の交通規制に従う

交通事故の原因になります。

⊘ 自転車の運転中に危険な行為はしない

- ・本製品やビデオカメラの操作をしない
- ・インサイドホンを使わない
- ・ビデオカメラのモニターを見ない

事故の原因になります。

⊘ クランプネジやカメラネジが緩んだ状態、クイックシューが確実に固定されていない状態で使用しない

ビデオカメラの落下や事故、けがなどの原因になります。

- ご使用前にクランプネジ、カメラネジに緩みがないか確かめ、緩みがある場合は、締め直してください。

⊘ ひび割れや変形、破損があるときは、使用を中止する

ビデオカメラの落下や事故、けがなどの原因になります。

注意

⊘ 分解、改造をしない

分解禁止 本製品、ビデオカメラを正しく取り付けられなくなります。

⊘ ビデオカメラを持って自転車を持ち上げない

落下やけがの原因になることがあります。

⊘ 異常に温度が高くなる場所に置かない

劣化の原因になります。

- 特に真夏の閉め切った車内やストーブの近くはご注意ください。

⊘ 子供など取り扱いに不慣れな方に使わせない

故障や事故、けがの原因になることがあります。

⊘ ビデオカメラをカメラ台に取り付けた状態で自転車ハンドルバーに取り付けない

落下や事故、けがの原因になることがあります。

⚠ 長期間使わないときは、自転車から取り外す

砂やちり、ほこりがたまり、故障、劣化の原因になることがあります。

⊘ ハンドルバーに取り付けた本製品に物を掛けない

自転車転倒の原因になることがあります。また運転の妨げになると事故やけがの原因になります。

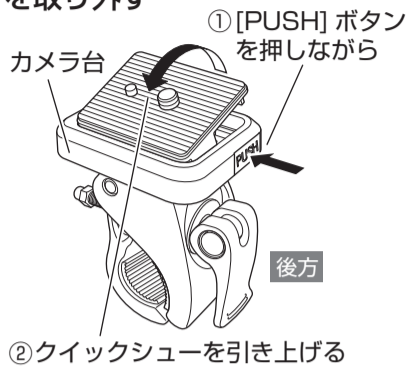
取り付けかた

本製品で使用できる自転車とビデオカメラについては、表面の「仕様」をご確認ください。

使いかた

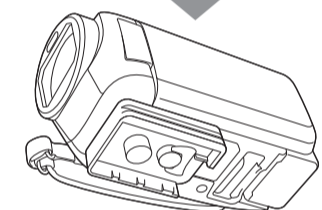
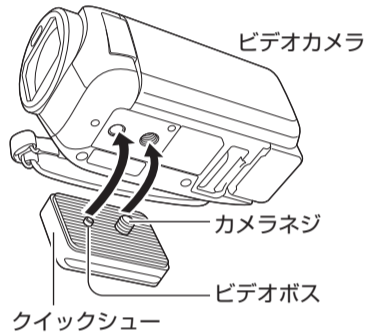
クイックシューをビデオカメラに取り付ける

1 カメラ台からクイックシューを取り外す



お願い
カメラ台に砂やほこりが入らないようにしてください。[PUSH] ボタンが押せなくなります。

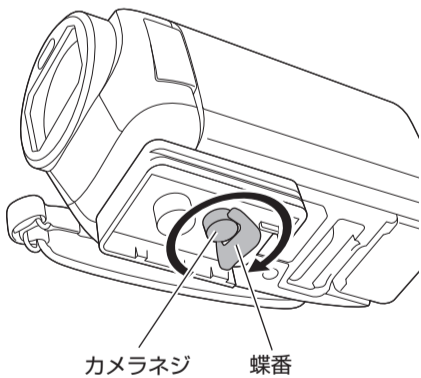
2 カメラネジとビデオボスを、ビデオカメラの穴に合わせて差し込む



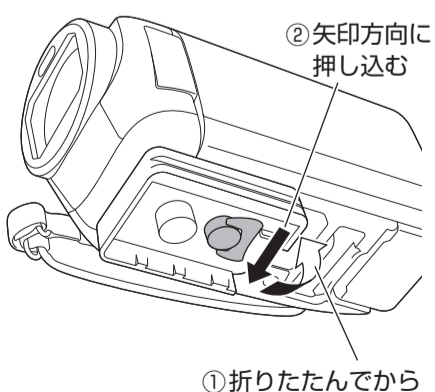
クイックシューをビデオカメラに密着させた状態で、クイックシューが回らないことを確認してください。

お願い
カメラネジとビデオボスはビデオカメラの穴に確実に入れてください。落下のおそれがあります。

3 クイックシュー裏面の蝶番を回して、カメラネジを締める



4 蝶番を押し込んで固定する

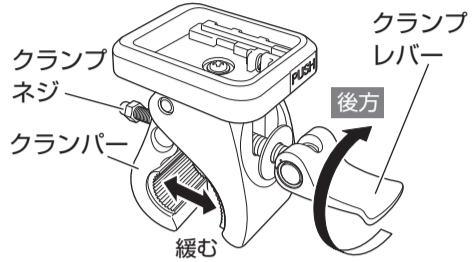


お願い
クイックシューがしっかりと固定され、ガタつきがないことを確認してください。

ビデオカメラマウントを自転車に取り付ける

1 クランプレバーを回してクランプを緩める（時計回り）

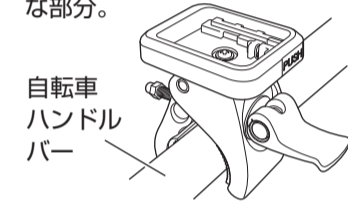
自転車ハンドルバーにかぶせられる程度まで2～3回転させてください。（ハンドルバーから外すときは反時計回りに回します。）



お願い
クランプネジはクランプから取り外すことができません。クランプネジを緩めた後、クランプネジを無理に引っ張らないでください。

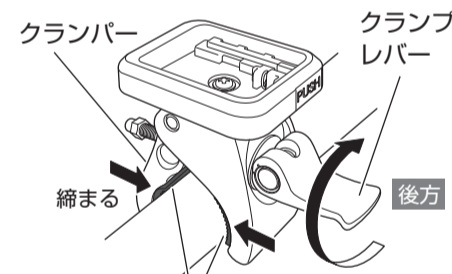
2 取り付け位置と角度を決める

- 自転車の機能を損なわず、走行の安全性を妨げない位置。
- 自転車ハンドルバーの太さが均一で水平な部分。

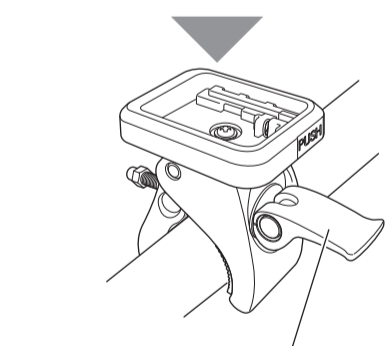


お願い
次のような位置には取り付けないでください。
●自転車ハンドルバーが曲がっていたり、水平でないところ、径が変わっているところ。
●ブレーキワイヤー、ベル、前照灯にあたる場所。

3 クランプで自転車ハンドルバーをはさみ、クランプレバーを回して締める（時計回り）



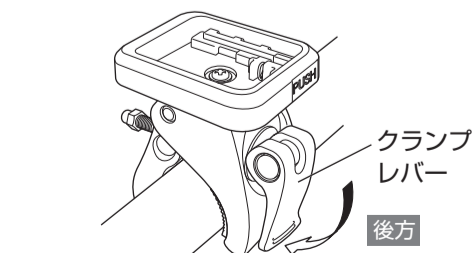
ゴムの部分を自転車ハンドルバーに密着させる



クランプが締め切り切る前に、クランプレバーが図の向きになった状態で回すのを止めてください。

お願い
クランプと自転車ハンドルバーの密着部分に、異物が入らないようにしてください。

4 クランプレバーを下げて、ビデオカメラマウントを固定する

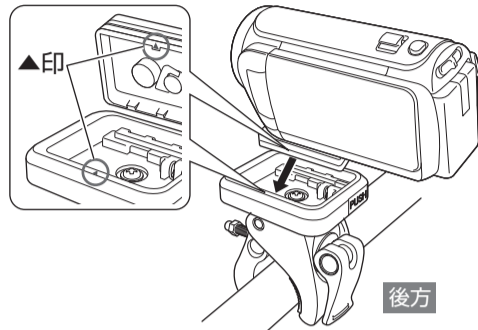


お願い
クランプレバーを無理に下げないでください。破損の原因になります。

ビデオカメラを取り付ける

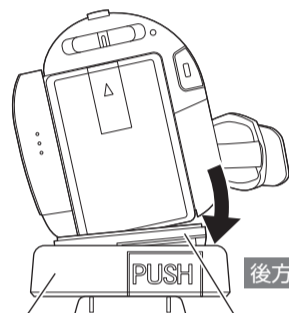
1 クイックシューの▲印をカメラ台の▲印に合わせ、斜めに差し込む

お願い
クイックシューとカメラ台の間に、異物が入らないようにしてください。

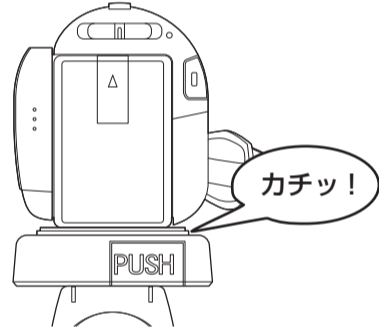


2 クイックシューを押し込んで、カメラ台に固定する

カチッと音がするまで押し込んでください。

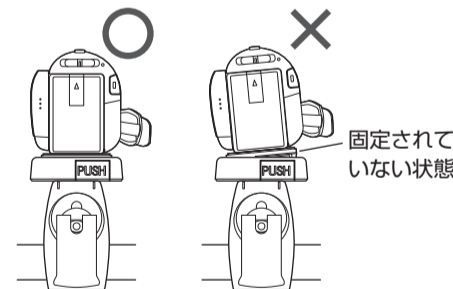


カメラ台 クイックシュー

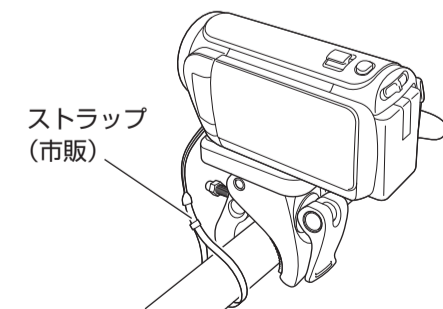


これで取り付け完了です。

お願い
取り付け後、ビデオカメラが確実に固定されていることを確認してください。ガタついたり、クイックシューがはみ出している場合は、ビデオカメラを取り外し、再度取り付けを行ってください。



お知らせ
万が一の落下を防ぐため、ビデオカメラと自転車ハンドルバーを市販のストラップなどでつないでおくことをおすすめします。



ビデオカメラを取り外す

ビデオカメラをクイックシューごとワンタッチで取り外すことができます。自転車から一時的に離れるときなどに便利です。



お願い
必ずビデオカメラを持って取り外してください。